

宮城県美術館 × 東北工業大学 地域連携センター

まちなか 美術講座

M A C H I N A K A A R T L E C T U R E

まちなかで、美術を身近に感じる。

第1回 10月17日(土)
第2回 11月14日(土)

定員各回 50名・無料

※事前申込制(申込先着順)

会 場

東北工業大学 地域連携センター

テロビ エスキースルーム

〒980-0021

仙台市青葉区中央 4-4-19

アーバンネット仙台中央ビル 5F



まちなかで美術を身近に感じる。

まちなか美術講座

宮城県美術館と東北工業大学で共催している「まちなか美術講座」。

令和8年度のまちなか美術講座では、カンディンスキーについて、竹久夢二について、それぞれお話しします。

第1回

カンディンスキーの衝撃 日本人が受け取ったもの

2026年

10/17(土) 13:30-15:00

講師 小檜山 祐幹(宮城県美術館 学芸員)

抽象絵画を切り拓いた画家、カンディンスキー。
その衝撃的な作品と美術理論は、日本にも直ちに
紹介され、多くの美術関係者に刺激をもたらしました。
日本人は彼とどのように出会い、何を受け取ったのか。
関連する作例を紹介しながらお話しします。

お申込みはこちら

第1回

9/17(木) 10:00～受付



山岡良文《シュバンモンク》1938年 京都国立近代美術館蔵



ワシリー・カンディンスキー《尖端》
1920年 公益財団法人大原芸術財団 大原美術館蔵

第2回

夢二のゆめ

2026年

11/14(土) 13:30-15:00

講師 濱崎 礼二(宮城県美術館 学芸員)



竹久夢二《港屋絵草紙店》1914年 宮城県美術館蔵



竹久夢二《童女図》
制作年不詳 宮城県美術館蔵

「大正ロマン」の代名詞ともいえる竹久夢二は、
大正期を中心に活躍した芸術家です。
一世を風靡した“夢二式美人画”や「宵待ち草」の唄、
そして恋多きエピソードなどから、夢二は生活感に乏しい、
浮薄な人物として語られることも少なくありませんでした。
はたして、その実像はどうだったのでしょうか？
宮城県美術館の所蔵作品を参考に、夢二の足跡をたどりながら、
夢二のゆめみた世界や、夢二の残した美術的遺産について考えます。

お申込みはこちら

第2回

10/14(水) 10:00～受付



開催概要

形式 対面のみ

参加費 無料

定員 50名(申込先着順)

会場 東北工業大学 地域連携センター「テクロビ」
エスキースルーム(仙台市青葉区中央4-4-19
アーバンネット仙台中央ビル5F)

※会場には駐車場がございませんので、
公共交通機関をご利用ください。

申込方法

事前申込制(申込先着順)

WEB 講座ごとの二次元コードからお申込みください。

メール 件名を「まちなか美術講座申込」とし
①氏名 ②電話番号 を記入のうえ
rc-center@tohtech.ac.jp まで送信してください。

※講座の申込は先着順です。
定員に達し次第、受付終了とさせていただきます。

お問い合わせ

●お申込み・受付に関すること

〒980-0021
仙台市青葉区中央4-4-19 アーバンネット
仙台中央ビル5F
東北工業大学地域連携センター
「まちなか美術講座」係
TEL 022-266-5222 (平日 10:00～17:00)

●講座内容に関すること

宮城県美術館
〒980-0861
仙台市青葉区川内元支倉34-1
TEL 022-221-2111 / FAX 022-221-2115
<https://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>

まちなかで美術を身近に感じる。

まちなか美術講座